

使いかた 熱源機リモコン

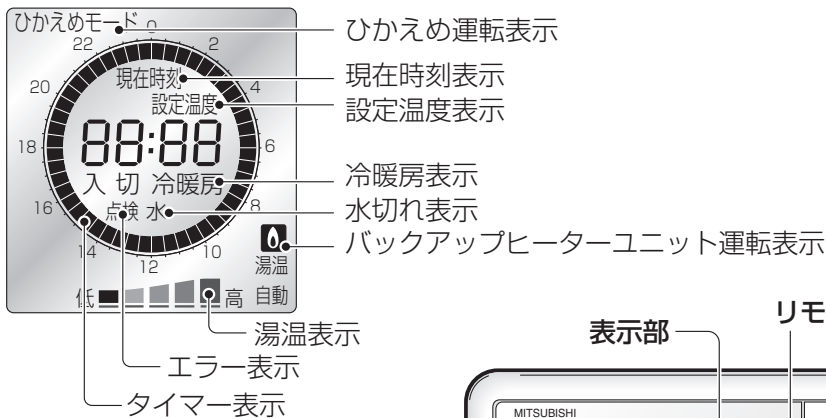
パネルヒーターシステムの場合 (熱源機リモコン VEZ-406RCD₂の使いかた)

熱源機リモコンで、熱源機の運転・停止および冷温水温度を調節します。

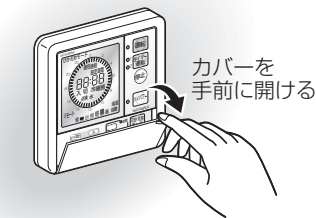
特長

- 冷温水温度調節** …… 温水 25 ~ 55℃、冷水 7 ~ 20℃の範囲で設定できます。
自動モードは暖房負荷に合わせた水温を自動コントロールします。(冷水は 7℃固定)
- ハイパワー運転** …… 通常運転よりも高い温水温度にて暖房運転。早く立ち上げたいときに有効です。
- ひかえめ運転** …… 通常運転の送水温度よりも暖房時は 5℃低く、冷房時は 3℃高くに送水させる省エネ運転です。
- 2つのタイマー運転** …… 毎日くりかえす運転パターンを、30分単位で自由に設定することができます。
2つのタイマーパターンを用意。季節や住まい方に応じて使い分けできます。
(タイマー 1 は運転 ↔ 停止パターンを設定できます。
タイマー 2 (24 時間運転) は通常運転 ↔ ひかえめ運転パターンを設定できます。)

表示部



カバーの中

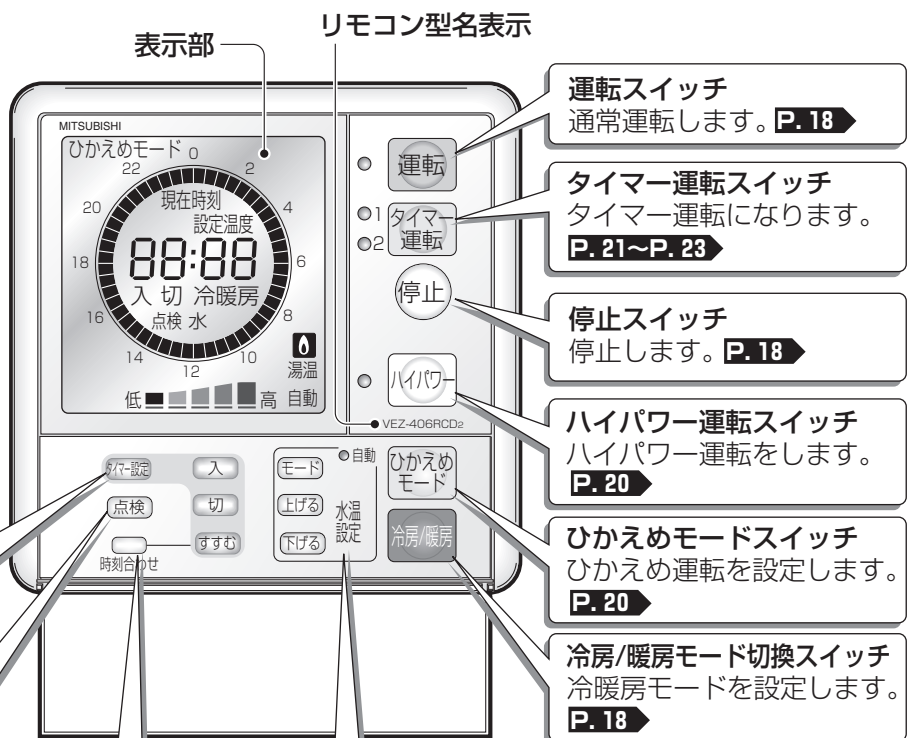


タイマー設定スイッチ
タイマー設定に使用します。
P. 21~P. 23

点検スイッチ
エラーを再表示します。
P. 28


時刻合わせスイッチ
現在時刻を設定します。
P. 17

水温設定スイッチ
水温を設定します。
P. 19



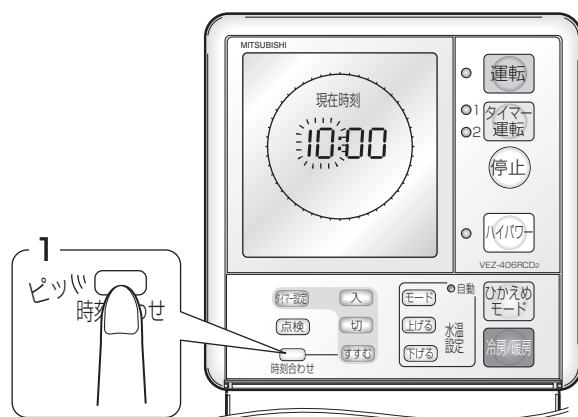
時刻合わせのしかた

1 リモコンのカバーを開けて



 時刻合わせ
スイッチを押す
「時」が点滅します

メモ


- 時刻未設定時は[--:--]になります。
- 電源投入時はしばらくの間「[::]」が点滅し、スイッチ操作ができません。




2 <「時」の設定>を行う

 すすむスイッチを押すたびに時の単位が11→12→13と変わります
「時」を合わせ  スwitchを押して「時」を確定します

3 <「分」の設定>を行う

「分」が点滅します
 すすむスイッチを押すたびに分の単位が1→2→3と変わります

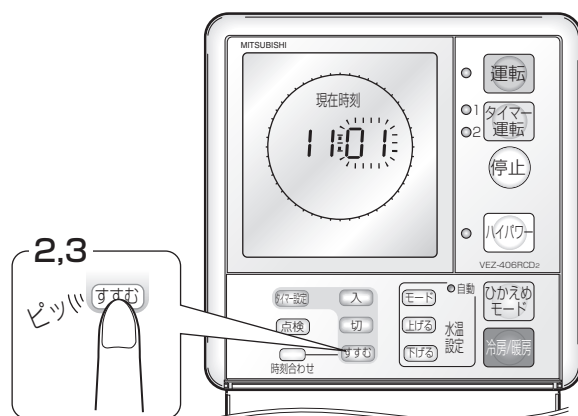
メモ

-  スwitchは押し続けると連続して変わります。

4 スwitchを押して確定する

メモ

- 約10秒間スイッチ操作しないと自動的に確定します。
- 停電があった場合、時刻表示は[--:--]の点滅表示になります。
再度時刻合わせを行ってください。



お知らせ

- 時刻表示はずれることがあります。
その場合は、再度時刻合わせを行ってください。
ひんぱんにずれる場合は、お買上げの販売店にご相談ください。

使いかた 熱源機リモコン つづき

運転開始と停止のしかた

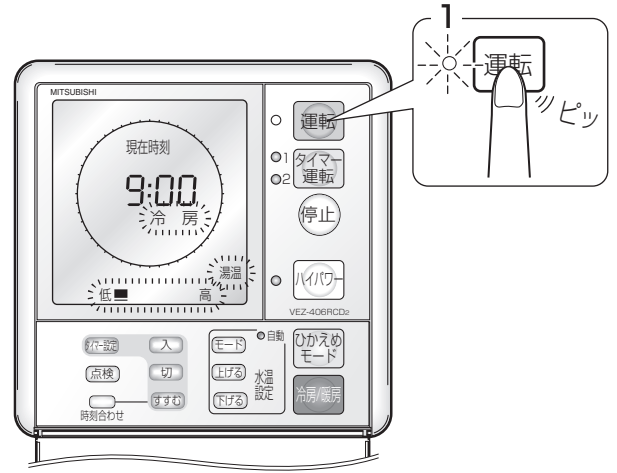
1 運転開始

運転 スイッチを押す

運転ランプが点灯し、湯温表示・冷暖房運転表示が表示されます。
放熱機へ冷温水を供給します。

メモ

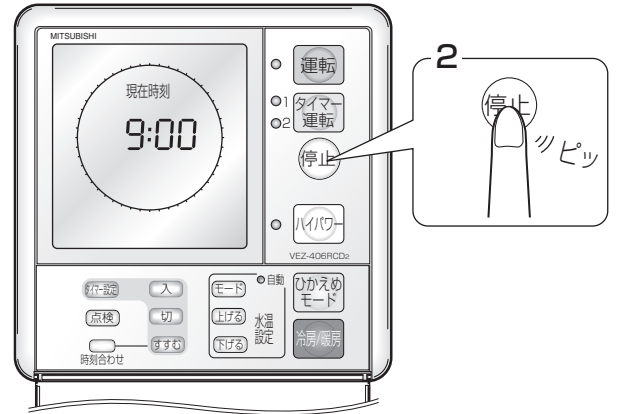
- 連続運転中に外気温度が -25°C を下回っている場合は運転ランプを点滅してお知らせします。
(室外ユニットが異常停止することがあります)



2 運転停止

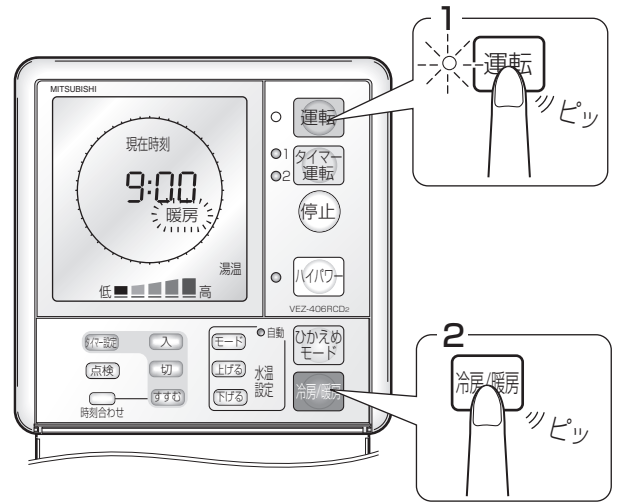
停止 スイッチを押す

運転ランプ、湯温表示、冷暖房運転表示が消灯します。
運転停止し、放熱機への冷温水供給が停止します。



冷暖房モードの設定のしかた

1 運転スイッチを押して運転にします



2 リモコンのカバーを開けて **冷房/暖房** スイッチを押す

押すたびに冷房（冷水）、暖房（温水）が切り替わります。

メモ

- 冷房を利用しないシステムでは、スイッチを押しても切り替わりません。（冷房を利用する場合は据付工事時に設定します）

水温設定のしかた

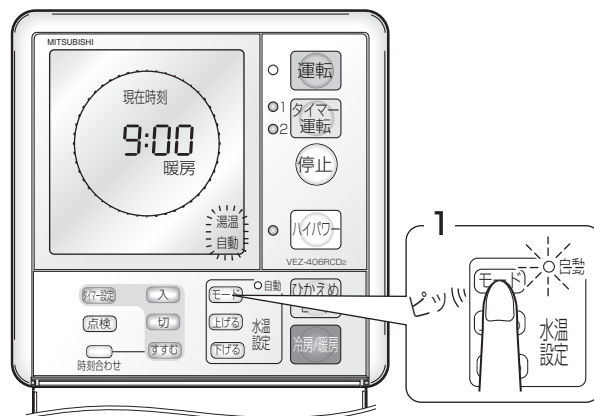
熱源機の水温を設定します。
自動設定では満足できない場合（さむい・あつい）、水温を固定したい場合に利用します。

1 リモコンのカバーを開けて モードスイッチを押す

押すたびに、自動と手動設定が切り替わります。
自動設定時は、湯温自動表示と自動ランプが点灯します。手動設定時は、設定温度を数値で表示します。

メモ

- 自動設定時は運転状態や外気温により水温を自動的にコントロールします。（冷房時は7℃固定）



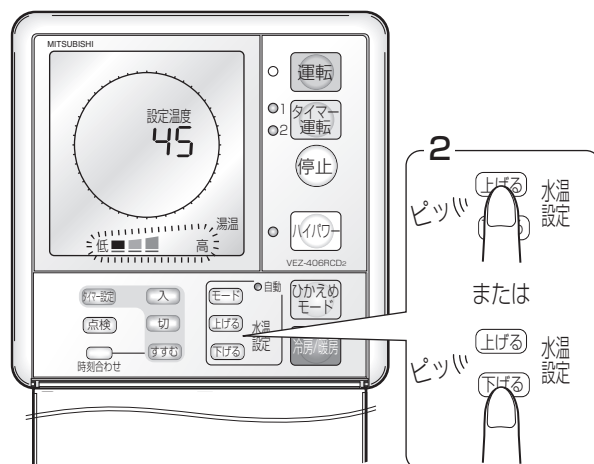
2 手動設定する場合 上げる 下げる スイッチでお好みの水温に設定する

押すたびに設定水温が1℃ずつ変わります。

暖房時 25～55℃
冷房時 7～20℃

メモ

- 初期設定（工場出荷時）は「自動」に設定されています。



知っ得情報

暖房時は水温を下げて、冷房時は水温を上げて運転する方が経済的です。

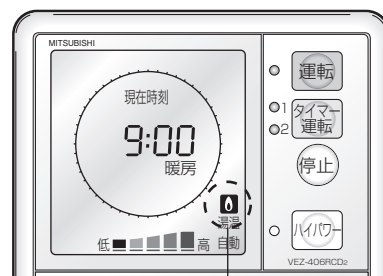
お知らせ

- 水温レベル表示の目安
- | | | | | | | |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 暖房時 | ～37 | ～42 | ～47 | ～52 | 53～ | (℃) |
| 冷房時 | ～8 | ～11 | ～14 | ～17 | 17～ | (℃) |



お知らせ

- バックアップヒーターユニット運転表示について
点灯：バックアップヒーターユニットが運転しています。
（暖房時に設定の水温が作れない場合に自動的に運転します）
点滅：バックアップヒーターユニットの運転頻度が高くなっています。
（1日10時間以上運転しています）
- 室外ユニットの吸込口、吹出口が雪などでふさがり、暖房能力が低下している可能性があります。
室外ユニットをご確認ください。



バックアップヒーターユニット運転表示

使いかた 熱源機リモコン つづき

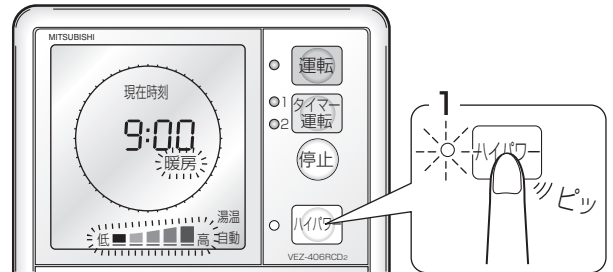
ハイパワー運転のしかた

ハイパワー運転とは水温を暖房時は 60℃、冷房時は 7℃にて運転します。
暖房時、お掃除などで、お部屋の温度が一時的に下がったときなどにお使いください。

1 ハイパワー運転開始

ハイパワー スイッチを押す

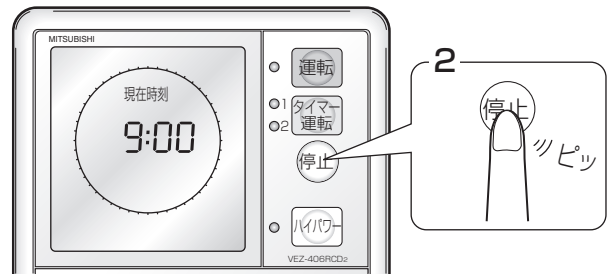
ハイパワー運転ランプが点灯し、湯温表示、冷暖房運転表示が表示されます。



2 ハイパワー運転停止

停止 スイッチを押す

ハイパワー運転ランプ、湯温表示、冷暖房運転表示が消灯します。
ハイパワー運転から通常運転へ変更する場合は、ハイパワー運転時に「運転」スイッチを押します。



メモ

- ハイパワー運転を停止すると水温設定は「自動」に戻ります。
- 連続運転中に外気温度が-25℃を下回っている場合は、ハイパワー運転ランプを点滅してお知らせします。(室外ユニットが異常停止することがあります)

お知らせ

- 暖房負荷が大きい場合やバックアップヒーターユニットがない場合は、ハイパワー運転にしても水温が上がらないことがあります。

お願い

- ハイパワー運転は、通常運転時より消費電力が増えますので使いすぎないようにご注意ください。

ひかえめモード設定のしかた

ひかえめモードとは通常運転より暖房時は水温を 5℃低く、冷房時は 3℃高く運転します。
経済的に運転したいとき、ご使用になると便利です。

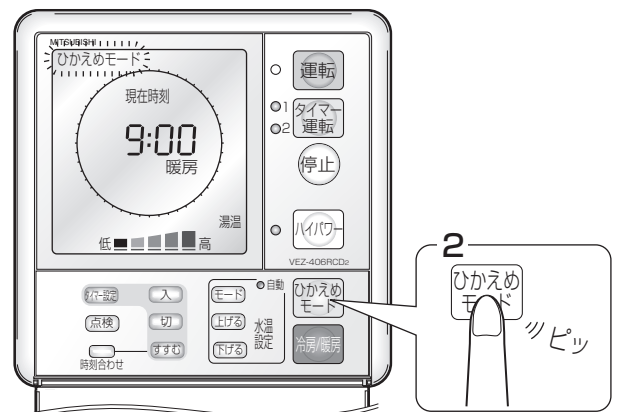
1 通常運転またはタイマー運転1にします

P. 19
P. 23

2 リモコンのカバーを開けて

ひかえめモード スイッチを押す

押すたびにひかえめモード設定の入切が切り替わります。
ひかえめモード設定入時に、ひかえめモード表示が表示されます。



メモ

- 室温が 2～3℃低下 (冷房時では上昇) することがあります。

タイマー運転のしかた

タイマー運転とは

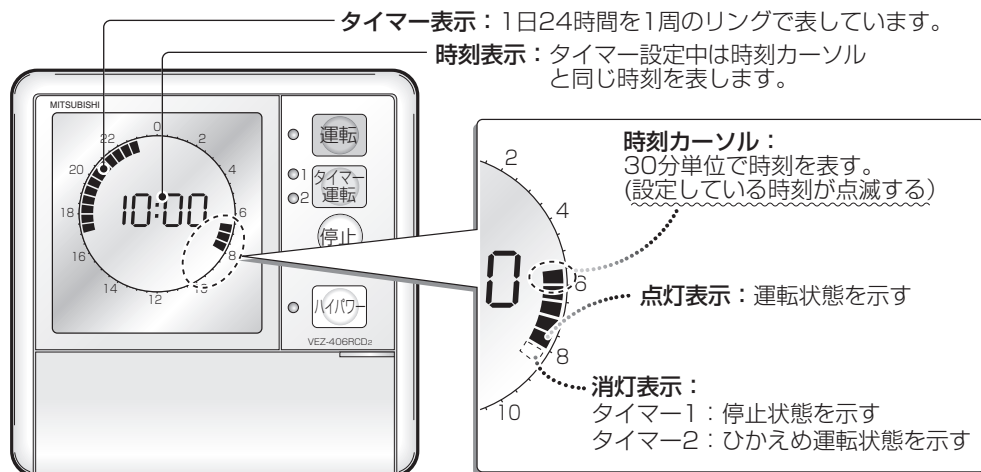
タイマー運転を上手に使うと生活のリズムに合った運転ができ、より快適な冷暖房をすることができます。1日24時間、30分単位で自由に設定することができます。

タイマーは、一度設定すると毎日操作しなくても決まった時間に運転します。

タイマー運転1は、運転と停止のパターンを設定することができます。

タイマー運転2は、通常運転とひかえめ運転のパターンを設定することができます（24時間運転）。

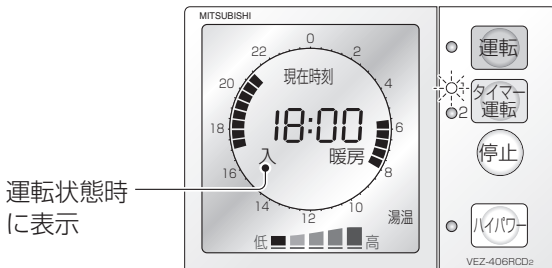
●タイマー表示について（30分単位の日盛りで、24時間の設定をひと目で確認できます）



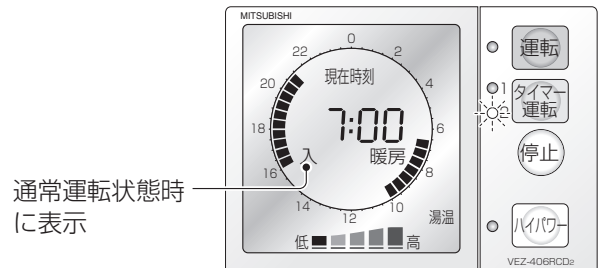
●タイマー表示例

タイマー運転1 運転時間例： 5：30～ 8：00
17：00～21：00

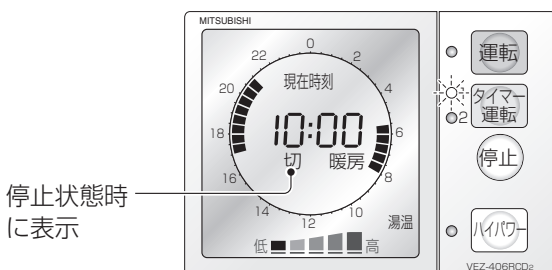
タイマー運転2 通常運転時間例： 6：30～10：00
16：00～21：00
(24時間運転)



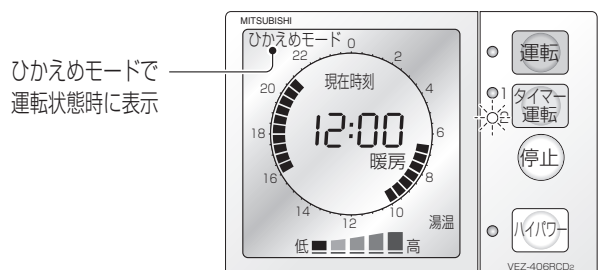
【運転状態】



【通常運転状態】



【停止状態】



【ひかえめ運転状態】

- メモ ●タイマー運転1の運転状態をひかえめ運転にできます。このときは、ひかえめ運転 P.20 と停止のタイマー運転となります。
- 運転状態で外気温度が-25℃を下回っている場合はタイマー運転ランプを点滅してお知らせします。（室外ユニットが異常停止することがあります）

知っ得情報

真冬など24時間暖房したい場合、タイマー運転2を用いて、部屋を留守にする時間をひかえめ運転とし、部屋を利用する時間を通常運転とすると経済的な運転ができます。

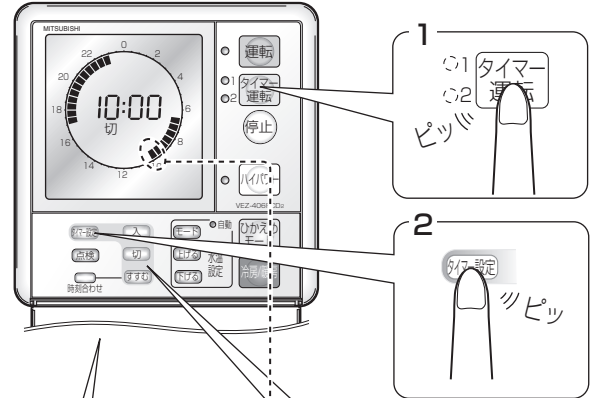
使いかた 熱源機リモコン つづき

■タイマー運転および設定のしかた

1 タイマー運転の開始

タイマー運転 スイッチを押す

押すたびにタイマー1とタイマー2が切り替わります。



2 タイマー設定の変更

タイマー設定 スイッチを押す

タイマーの設定が変更可能となります。

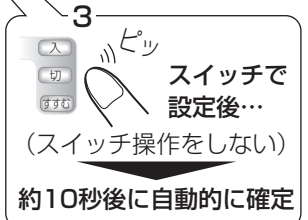
3 設定する

入、**切**、**すすむ** スイッチを使用して

約10秒間スイッチ操作しないと、自動的に確定します。
確定後、タイマー運転表示になります。

メモ

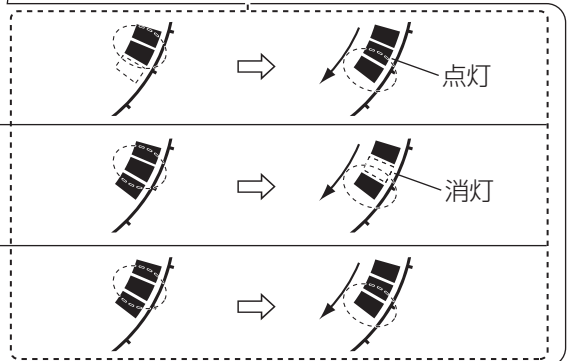
- 現在時刻を設定しないと、タイマー運転、設定ができません。
- タイマー表示の見方については **P.21** をご参照ください。



入 スイッチは時刻カーソルの位置を点灯させ1つ進める。
(□が■になります)

切 スイッチは時刻カーソルの位置を消灯させ1つ進める。
(■が□になります)

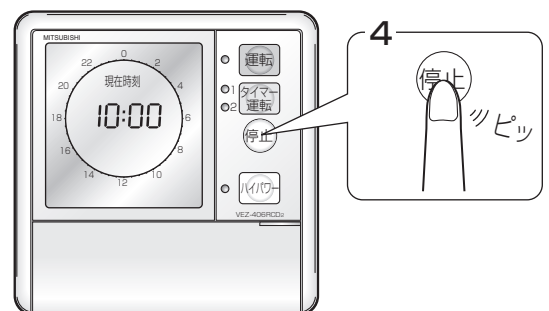
すすむ スイッチは時刻カーソルを時計方向に進める。
(表示は変えませんが：■は■、□は□のままです)



4 タイマー運転の停止

停止 スイッチを押す

タイマー表示が消灯します。



■タイマー設定の例

タイマー設定されている 17:00～21:00 (タイマー運転 1) の運転を 18:00～23:00 に変更する場合

- 1**

① **タイマー運転** スイッチを押して、
タイマー運転 1 にする

② **タイマー設定** スイッチを押す
- 2**

① 0:00 のところで時刻カーソルが
点滅する

② **すすむ** スイッチを押して 17:00 の
ところまで時刻カーソルを進める

メモ ●電源投入後、最初のタイマー設定変更時は 0:00 のところで時刻カーソルが点滅します。2 回目以降は最後に変更した時刻カーソルが点滅します。
- 3**

切 スイッチを 2 回押して 18:00
のところまで進める

● 17:00 と 17:30 に対応しているタイマー
一部分が消灯します。
- 4**

すすむ スイッチを 6 回押して 21:00
のところまで時刻カーソルを進める
- 5**

入 スイッチを 4 回押して 23:00
のところまで進める

● 18:00～22:30 に対応しているタイマー
一部分が点灯します。

● 約 10 秒間スイッチ操作しないと、自動的に
確定します。

確定後、タイマー運転表示になります。

